

しいものはない。すぐにでも作り得るシステムである。FA(製造)の場面ではすでにこの考え方のシステムは実施されつつある。OA(業務)への適用が遅れているにすぎない。これは先に述べたように、計画—管理—実行をフォローする事務の連動を重視していない企業内の事務体制の問題である。このシステムの提起により、この企業の事務体制の見直しの動機作りになることを期待している。利益確保を考え、実施する方便は事務から始まることを忘れてはならない。現在、工場内の設

備、機械の自動化は急速に進んでいる。これらの稼動データは集約され管理システムに結合している(FA化の進展)。経営・管理の事務処理システム(OA化)は、このFAシステムとの結合を指向している。また外部情報システム(INSおよび銀行システム等)との結合も可能である(図4参照)。

筆者はこのトータルシステム(経営情報管理システム・MIS)の中堅企業への展開を期待している次第である。



## 研究部会報告

### ●数理計画(九州)●

#### ●第1回

日時: 5月21日(土) 場所: 九州大学

出席者: 31名

(1) 「経営計画のための情報管理とインセンティブ管理」浜田和樹(西南学院大)

経営計画において部門単位と全体を通じての最適化を行なうに当って、①LPプログラムを用いた主計画と副計画のシャドゥプライス操作による調整、および②最大のインセンティブを得るための情報交換、の2点を中心に論じた。

(2) 「整数計画法への乱数の応用—切除平面法の計算法」須永照雄(九州大工学部)

整数計画法において、物理量を処理する実数概念としての区間、および独立性の強い切除平面法の導入の必要性を説き、乱数の使用による頑健性のある新しい計算法を提案した。

全体を通じて多数の参加者がおり、質疑応答が活発に行なわれて盛会であった。

### ●現場のOR教育●

#### ●第4回

6月17日 15:00~17:00

パソコンのプログラムパッケージの中でOR関係のもの調査報告があり、それらの利用について討議した。

今回は線形計画法について、会員各社での経験をもとに教材の素案をそれぞれ考え、もち寄ることとした。

### ●待ち行列システム●

#### ●第3回

日時: 6月18日(土) 14:30~17:30

場所: 東京工業大学(情報科学科会議室)

出席者: 31名

テーマと講師:

- Q S 3-1 有限容量バッファをもつ計算機におけるjobの待ち行列の解析 (中田勝啓・玉川大)
- M/G/1/K モデルのオーバーフロー特性の解析
- Q S 3-2 Comparability and Monotonicity/Metrics サーベイ (森 雅夫・東工大)
- Q S 3-1 問題提起: 新しいsimulation言語の必要性 (米田 清, 藤原 陸・東芝総研)

### ●未来分析●

#### ●第6回

日時: 6月18日(土) 14:00~17:00

場所: 東京都労働福祉会館

議題: 日本の商人道と21世紀(日本の経済合理主義の歴史的系譜) 上田イノベーション研究所 上田亀之助

内容: 「日本の経済を支配している原点は何か」を掘り下げることは、本部会のひとつのテーマである。「日本では経済学は発達しなかったが経済は発達した」との仮説に対し、日本の商人道の研究は実証的価値があった。われわれが経済問題あるいは経営問題を考えるうえで、徳川時代に発達した経済合理主義は示唆に富むものがあるし、さらに深く研究する必要性のあることが痛感された。